

## 行政の取り組みについて 事前質問に対する回答

No	質問	所管課	回答
1	<p>第2期計画では、地域福祉課題に対する「自助」の役割が掲げられているが、「自己責任」との兼ね合いがかねてから疑問であった。自助の強調でもたらしかねない、人の世話になれないという高齢者の孤独死などの問題に不安を感じる。</p>	<p>社会・障がい者福祉課</p>	<p>第2期計画策定時のアンケート調査では、困ったときに助けてと言えないという人が26.8%とほぼ4人に1人の割合でおられました。</p> <p>計画においては、地域での交流活動を進めるとともに身近な地域での困りごとに対応する住民相互の協力体制づくりや支援を必要としている方の把握を行い、孤独死を防止するための体制整備等に取り組んでいるところです。このような地域の福祉課題を明らかにし、その課題の解決に向け「自助」、「共助」、「公助」が協働して取り組むこととし、「自助」として市民一人ひとりの役割を示していますが、ご指摘のとおり自助の取り組みが「自己責任」を問うものにならないように配慮する必要があります。</p>
2	<p>【資料1】1ページ NO4, 【資料3】1ページ 自治会加入減少について 減少の要因の一つに自治会長の仕事内容やノルマについて 過重負担はないのか、洗い出しが必要では。また公的機関の 代務者的役割の加減を計り直さなくてはならないのでは。その 不安から役職が回ってくることへの忌避意識の増大があるのでは ないか。</p>	<p>まちづくり推進課</p>	<p>飯塚市行政事務の一部を委嘱している行政協力員としての自治会長に対して、確かに多くの事務をお願いしている事実がありますが、そのことが原因で自治会加入減少になっている、とは言い難いのではないかと考えます。大きな要因として、少子高齢化や核家族の増加に伴い若い世帯が増えており、夫婦共働きや子育て等で時間的余裕がなく自治会加入をさけるケースや、高齢世帯などでは自治会活動への参加や役員が回ってくることへの懸念があり、自治会加入をさけるケースが存在することによる自治会加入率の減少を発生させていることが考えられます。</p>